



新座中だより

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1
Tel 048-478-3668
HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp>
新座市立新座中学校

学校教育目標
強く 明るく 考える

「4月号」

令和8年4月8日発行

「為し、合わせ」が幸せを生む

校長 伊藤大輔

令和八年度が始まります。家庭・地域の皆様におかれましては、お支えいただく場面が多々あると存じます。本校教育の発展のため、そして児童・生徒のよりよい成長のためお力添えいただければ幸甚に存じます。本校経営方針の軸は「幸せを生む学校づくり」です。本号は、この趣旨に触れます。

情熱の教育者として知られる東井義雄(とうい よしお)先生は「自分は自分の主人公 世界でただひとりの自分を創っていく責任者」という言葉を残されました。自分を創る責任者は自分です。親御さんでもない。ましてや先生や友人でもない。自分自身です。自分の物語(=生き方)で、自分をどのような主人公にするかは、自分で決めます。それは自分にしかできないからです。

生徒の皆さんに問います。あなたは「する人」になっていますか。行動を起こす人になっていますか。「やらされる人」になっていませんか。人にやらされていたり、人の顔色をうかがってやったり、誰かにつられて行動していませんか。そういう在り方から離脱しない限り、自分の物語を紡ぐことはできません。人は弱い存在です。だからこそ、自分で決めたことを忘れず、小さな実践を積み重ねることで力を付けるしかありません。その営みを怠(おこた)れば、「する人」から「させられる人」になります。「する人」とは自らの一切に責任を負う人のことです。

自分という存在が大きく育つ中学生の時期であるからこそ、皆さんには自分と正しく向き合っていたきたい。そして人との関わりにおいても自分がどう在るべきかに心を砕いてほしい。自分(わたし)を大切にできるから相手(あなた)も大切にできるので

す。自分を出発点に為し(=行動を起こし)、相手の思いを汲み、互いをあわせる(=力を結ぶ)ところに、幸せは生まれるのです。九世紀初頭、真言宗の開祖空海は自分と他人のつながりを軸にすえ「修行によって自分も救われ相手も救われる」と考えました。空海は利他を考えるあまり自利の道を失うことを危険視しました。利他とは相手を幸せにすること、自利とは自分が幸せになることです。真の利他を為すには、自己を深めよと説きました。「自利を以て利他を為せ」と。

さて、お子さまは保護者の皆様からの大切な預かりものです。一人一人が学校の主人公です。しかし、お客様ではありません。学校づくりの一員です。中学校は生徒が今・ここよりも一歩先の社会に出たときに、生きて働く力を付け、感度を高める場です。民主的な社会の担い手を育てる場です。義務教育を終えたとき、未熟な面があつたとしても、応援される資質を携えた生徒を社会に送り込みたいと私は切望します。よって本校では厳しさと慈しみをもって、指導に臨みます。ただし教育の営みは学校だけでは完結しません。「家庭は習慣の学校、父母は習慣の教師」と言われます。習慣の力は、教授の力よりも強大です。保護者の皆様と教育の目的を共にして、お子様を共育していきたいと存じます。

最後になりましたが、私は四月一日に着任した校長の伊藤大輔(いとう だいすけ)と申します。前任の金子校長先生はじめ、多くの人々によって紡がれてきた良き伝統を受け継ぎ、明日への扉を叩く力と感性を、教職員一丸となって育ててまいります。どうぞよろしくお願いいたします。